

第79回全日本
アイスホッケー
スケート

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技第4日は29日、群馬、岡山両県でスピードとフィギュアの2競技を行った。青森県は、スピード少年女子が2000mリレーで準優勝を果たした。フィギュア成年女子ショートプログラム(SP)は、渡辺倫果(青森山田高-法大)が8位、聖前登乃華(工大-高一東北福祉大)が18位で、それぞれ上位24人によるフリーに進出した。

スピードでは、2000mリレーの順位決定戦に進んだ成年女子が5位、成年男子が6位となった。決勝が行われた少年女子の3000mで長根結芽(八学光星高)が6位、吉田愛実(八戸高)が7位、1000mで上田千聖(八学光星高)が7位、成年女子3000mで木村咲映(八学大)が8位に入った。

青森以外では、少年女子1000mで山形・石岡文那(下長中-山形中央高)が3位。少年男子5000mで群馬・船場充嵩(八戸一中-嬬恋高)が3位、山形・和田禮生(仮城中-山形中央高)が8位だった。この日でスピードの全日程が終了し、スケート最終日の30日はフィギュア成年女子フリーが岡山県倉敷市で行われる。(桑田友人、船渡拓)



【少年女子2000mリレーA決勝】青森は吉田愛実(八戸高)=右=がアンカー、長根結芽(八学光星高)にバトンパス=高崎健康福祉大学伊香保リンク



2位に入ったメンバ。(後列右から)長根結芽

- スピードスケート**
- ▽成年男子1000mリレー決勝
①群馬県健康福祉大李伊香 1分29秒75
②山形県山形中央高 1分30秒00
③八学大 1分30秒00
- ▽成年男子3000mリレー決勝
①八学大 6分44秒00
②八学大 6分44秒00
③八学大 6分44秒00
- ▽成年女子1000mリレー決勝
①山形県山形中央高 1分30秒00
②山形県山形中央高 1分30秒00
③山形県山形中央高 1分30秒00
- ▽成年女子3000mリレー決勝
①八学大 6分44秒00
②八学大 6分44秒00
③八学大 6分44秒00

4チームが競い合った少年女子2000mリレー決勝。3位だった昨年を上回る成績を挙げた。

昨年以上回り有終の美

- ▽同2000mリレー決勝
①八学大 6分44秒00
②八学大 6分44秒00
③八学大 6分44秒00
- ▽同1000mリレー決勝
①八学大 1分30秒00
②八学大 1分30秒00
③八学大 1分30秒00
- ▽同500mリレー決勝
①八学大 3分30秒00
②八学大 3分30秒00
③八学大 3分30秒00

監督絶賛「100点」

この日が最終日だったスピードスケート競技。最長バトンを託されたのは、長根結芽(八学光星高)。2位の山形県山形中央高に劣る。2走の長根結芽は、100mの出来たことが、監督から「100点」の絶賛を受けた。4人の黒のついでだった。合ったチームワークを評価した。同日行われた別種目で、転倒した1走の根城理実(日体大)。「引きずる」レースに影響するので、とにかく集中し、少しでも速く滑るよう意識した。と気持ちを切り替え、先行する富山の選手を冷静に追いかけて続々2走の渡辺咲良(八学大)が追い抜き、3走の公立中央高(アライフーズ)はそのままりドを保った。アンカーとしてスムーズにバトンを受け取った

この日が最終日だったスピードスケート競技。最長バトンを託されたのは、長根結芽(八学光星高)。2位の山形県山形中央高に劣る。2走の長根結芽は、100mの出来たことが、監督から「100点」の絶賛を受けた。4人の黒のついでだった。合ったチームワークを評価した。同日行われた別種目で、転倒した1走の根城理実(日体大)。「引きずる」レースに影響するので、とにかく集中し、少しでも速く滑るよう意識した。と気持ちを切り替え、先行する富山の選手を冷静に追いかけて続々2走の渡辺咲良(八学大)が追い抜き、3走の公立中央高(アライフーズ)はそのままりドを保った。アンカーとしてスムーズにバトンを受け取った

リレー成年女子5位入賞

いい、全力で両手を振って滑った。トップを守り切った。トルクの瞬間を「あれよりも強かった」と振返った。

好タイムで存在感示す
○：成年女子2000mリレーの5-7位決定戦。大は「頑張ってくれたみんなの気持ちを背負り返った。」

【少年女子3000メートル決勝】6位入賞を果たした
長根結芽（八学光星高）＝中央＝



女子3000
少年長根（光星高）6位
成年木村（八学大）8位

○この日行われた3人で岐阜の選手を追い抜
000メートル決勝では、少年
女子で長根結芽（八学光
星高）が6位、吉田愛美
（八戸高）が7位、成年
女子で木村咲映（八学大）
が8位となり、青森県勢
3選手が入賞を果たし
た。

長根は一つでも責任先
頭のポイントを取ろうと
したが、「うまく前に出
られないので、着順狙い
に切り替えた」。残り3
000メートルのプリント勝負
り込んだ。

一方、くじ引きで後列
からのスタートとなった
木村。開始早々にポイン
トを取るプランは崩れ、
レース展開に苦しんだも
の、何とか入賞圏に滑